

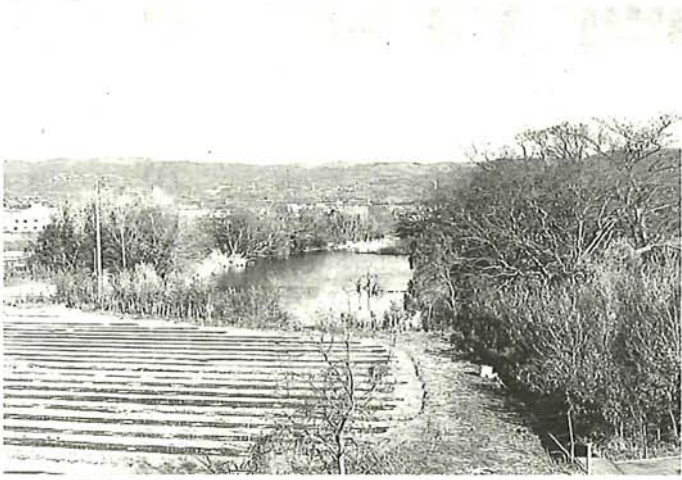
平成31年(2019年)1月12日(土曜日)

# 松毛川景観保全と親水化整備に着手

## GW三島、5カ年5億7000万円

NPO法人グラウンドワーク三島は、三島市と沼津市の境に位置する松毛川(沼津市では灰塚川)の景観保全と親水化に向けた整備に本格着手する。行政や民間団体の補助金を活用し、5カ年で約5億7000万円を投入する大型事業。

松毛川は昭和初期の堤防工事で止水域となった延長1300mの旧河川敷。樹齢100年超の樹木が130本以上あり、120種類の鳥類が生息できる豊かな自然を持つ一方、風害による倒木やごみ



景観保全と親水整備が始まる松毛川＝三島、沼津市境

は約440万円で購入する。国、県、両市の補助金計約5億6千万円を見込み、土地購入については費用の一部240万円を公益財団法人自然保護助成基金と日本ナショナル・トラスト協会が助成する。同法人は2007年から地域住民や学生らを巻き込んだ再生活動を同所で続けてきた。渡辺豊博専務理事は「原風景を守り、日本のサンクチュアリをつくりたい」と抱負を述べた。

投資で環境悪化が拡大している。

事業は水底の土砂しゅんせつや遊歩道建設を含め、大がかりな森づくりを進める。中郷温水池からの回遊ルートも整備する予定。右岸の民有地3千平方